

教科	技術・家庭科	分野等	技術分野
学年	第1学年	授業時数	35 時間
教科書	「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	副教材	「技術・家庭ハンドノート」 正進社
授業者	眞谷 和成		

年間の到達度目標	<p>(1) コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みを知るとともに、情報通信ネットワークにおける安全な情報利用のあり方を考えようとする態度を育成する。</p> <p>(2) 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割や技術の進展と環境との関係について関心を持たせる。</p> <p>(3) 製作品の製作を通して適切で安全な加工法を身につけ、材料と加工に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し、活用する能力と態度を育成する。</p>
----------	--

月	単元・題材	小単元	時数	評価規準	主な評価方法
4月	A (1) ガイダンス	生活や社会における技術の役割	3	(関) 技術が果たしている役割について関心を示している。	観察・発表
5月	D (1) アイ コンピュータと情報 通信ネットワークの 活用	1 情報と私たちの生活	1	(関) 生活や社会を向上させる情報に関する技術に気付く。	観察・ノート・作品
		2 情報通信ネットワークの利用	2	(知) コンピュータの構成や、情報通信ネットワークの構成を知る。	
6月	D (2) デジタル作品 の設計・製作	3 デジタル作品の設計と製作	4	(技) 適切なソフトウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。 (工) 情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動している。	
7月	A (2) アイ 材料と加工法	1 様々な材料と特徴	2	(知) 木材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身につけている。	観察・作品・ワークシート
9月		2 構造の工夫と材料に適した加工法	2	(関) 省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 (工) 丈夫な構造を工夫でき、使用目的に合った適切な加工・接合・仕上げの方法を考えている。	
10月		3 設計と製図	2	(知) 等角図、キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身につけている。 (技) 製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などでかき表すことができる。	
11月	★A (3) 木材による 製作品の設計・製作	1 作業手順と適切な加工方法を 考えて製作しよう	17	(知) 材料に適した切断、切削などの方法についての知識を身につけている。	観察・作品・ワークシート
12月				(技) 切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	
1月				(技) 製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。	
2月		2 完成した製作品を評価しよう		(関) 新しい発想を生み出し活用しようとしている。	ワークシート・発表
3月	A (2) ウ材料と加工 の技術の評価・活用	1 社会・環境とのかかわり 2 材料と加工に関する技術と 私たち	2	(関) 材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する (工) 材料と加工に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見いだしている。	ノート・発表
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用 実験機器・教材の活用			
課題・提出物等		ノート・ファイル点検			
未到達者への対応		放課後等を活用して補充学習			